

# 会報

No. 63

平成16(2004)年3月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9  
京都府立図書館内  
TEL (075)762-4655

## ワクワクドキドキ 科学あそび

科学あそび

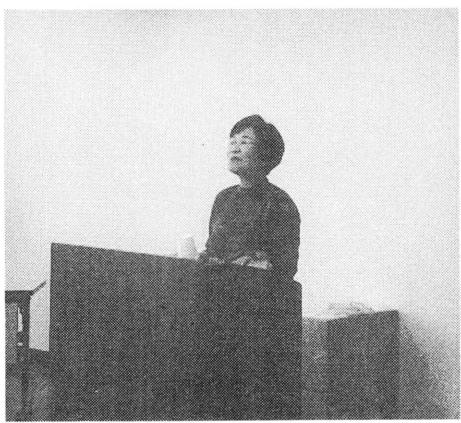
長岡京科学とあそびの会代表

小野 操子

科学とあそびの会が誕生して十五年になります。現在会員数は二十三名。主な活動は、年二回、長岡市立図書館主催、小学生対象に行われる科学あそびで指導に当たることです。

毎回三人の担当が中心になつて取り組んでいます。担当はほとんど自己申告で決まり、月一回の例会と必要に応じて持つ担当会で内容や進め方を検討し、当日に臨みます。

平成十六年三月二十六日(金)には「凹面鏡でミラクルボックスを作ろう!見えるけれどもさわれない!」



が摸索の始まり、試作の繰り返し。調べることもたくさんあります。凹面鏡、フレネルレンズ、知っているようでも突き詰めると不確かなことばかり。子どもたちに難しい説明をするつもりはありませんが、自分たちができるだけ理解しておかないとおもしろさは伝えられませんし、間違いをしでかすかも知れません。何より会員が納得したいのです。いく

めどがつきました。さあここからが凹面鏡シートを見つけてきました。凹面鏡もどきです。二十個で一シートになつており、千六百円。その名も何と「ギヨロシート」。本来の使用目的は未確認。見え方は少々劣りますが十分使えます。軽くて丈夫で扱いやすく、何といっても値段が安い。工作用紙など他の材料込みでも一人約百円。

ところで今日は、ある会社のご好意で、「マジックミラー」という物を借りることができます。これなら博物館や科学館ほどではないとしても、物がくつきりと空中に在るようになります。思わず触りたくなってしまうでしよう。

子どもたちはワクワクしてくれるだろうか、会員はドキドキしながらただいま準備の真最中です。

(記 平成十六年二月末日)

をテーマに行なう予定です。物が空中に在るよう見えるおもちゃを作りたいのです。でも凹面鏡は安くても数千円。その上重いし壊れやすい。参加者は毎回百人にもなり、どの子も自分で工夫したいし、完成品を持つ帰りたいのです。さてどうしたらいいものか……。

こんな時には、誰かが解決方法を見つけてくるものです。会員数の多いことは力です。今回も担当の一人がフレネルレンズにアルミ蒸着した凹面鏡シートを見つけてきました。凹面鏡もどきです。二十個で一シートになつており、千六百円。その名も何と「ギヨロシート」。本来の使

用目的は未確認。見え方は少々劣りますが十分使えます。軽くて丈夫で扱いやすく、何といっても値段が安い。工作用紙など他の材料込みでも一人約百円。

そこで当日の進め方を話し合いました。年齢も経験も異なる子どもたちだけ得るものが多く、仕上がったときの達成感は格別です。

そして当日の進め方を話し合いました。年齢も経験も異なる子どもたちが相手ですから、説明の順序や補助道具、使う言葉等々、細かい打ち合わせは欠かせません。

つになつても「知るは、喜び」——ごろは若い会員を中心にインター

ネットも活躍します。

## 平成15年度 京図連協実務研修会

本年度の京図連協実務

研修会が、北部・中部・南部の府内三会場で開催されました。

今回は、各会場の参加

者の中から、宮津市立図書館の吉田さん、京都市右京図書館の並河さん、

府立図書館の足立さんに、それぞれ、参加した研修会の様子や感想を書いていただきました。

(六P「専門委員会二ユース」参照)

も大変喜ばれました。

今回は、受講側として、おはなし会等ですぐ利用できそうな科学あそびを教えていただきました。

小野先生は、長岡京科学とあそび立図書館主催の科学あそびの講師を

長年されているそうです。

長岡市へ引っ越しして来られた時、荷物をほどくより先に図書館へ「科学あそびをしませんか」ととび込まされたというバイタリティあふれた方で、気さくに分かりやすく教えてくださいました。

まず、「回転四面相」で立方体の不思議さを体験し、次に、裏と表に

絵が描いてあり、クルクル回すと二つの絵が重なって見える「ソーマトロープ」でお話を実演していただき、さらに、ぬれた布で糸をひっぱると思わず大きな音が出るもの、モール

の小さなへびが自分の声に共鳴し、紙コップの上でクルクル回るもの(へび使いになつたような気がしました)、プラバンの小さな風車様のものを、ストローで風圧をかけ上に飛ばすもの(コツがかなりいる)、牛乳パックで正方形を三角形四枚に切り、隙間をあけて輪に貼り合わせて裏返すもの(なかなか頭をひねつて、一回では裏返らなかつた)等々、

身近にある牛乳パックや紙コップなどで簡単にできるものばかりで、科学おもちゃの不思議さや面白さに感嘆し、童心にかえつて熱中していました。時間が経つのがあつとう間で、もっと教えてもらいたい程

でした。  
実技の研修ということで、担当された研修研究委員さんの方には準備物などお世話になり、大変だった事と思いますが、参加出来なかつた他の職員へのお土産にもなり、大変良かったとされています。自館でもおはなし会等で活用したいとっています。ありがとうございました。

まず、「回転四面相」で立方体の不思議さを体験し、次に、裏と表に絵が描いてあり、クルクル回すと二つの絵が重なって見える「ソーマトロープ」でお話を実演していただき、さらに、ぬれた布で糸をひっぱると思わず大きな音が出るもの、モールの小さなへびが自分の声に共鳴し、紙コップの上でクルクル回るもの(へび使いになつたような気がしました)、プラバンの小さな風車様のものを、ストローで風圧をかけ上に飛ばすもの(コツがかなりいる)、牛乳パックで正方形を三角形四枚に切り、隙間をあけて輪に貼り合わせて裏返すもの(なかなか頭をひねつても、一回では裏返らなかつた)等々、



北部会場の模様

### 実務研修会（中部会場） に参加して

京都市右京図書館  
並河 智子

障害者サービスをテーマとした研修会に参加させていただきました。講演ではライトハウスの沿革や事業内容、点字図書館の役割や課題についてお話ししました。

図書館に勤務していますので、点字図書館の視覚障害者への情報提供サービスのお話を特に興味深く聞くことができました。

本来公共図書館は障害のある方も健常者と同等のサービスを提供できるよう、体制や設備を整えるべきなのですが、十分とはいえない現状です。

京都市図書館では視覚障害者へのサービスとして、テープ図書の貸出や対面朗読等をおこなっています。しかし、対面朗読室を設けているのは全十数館ある中の一部の館ですし、利用も多いとはいません。もっとお知らせして、活用していただくようになることが今後の課題だと思います。

また点字図書の所蔵のお問い合わせ

講師の小野操子先生には、今年度、宮津市立図書館でも絵本講座の講師としてお世話になり、科学おもちゃ作りを教えていただき、受講生の方

せを時々受けたのですが、要望に応えられるだけの蔵書がありません。幸い市内にライトハウス点字図書館がありますのでそちらを案内することになるのですが、すぐにその場でお役に立たないことにもどかしさを感じることが多々あります。

講演の中でもお話をありました。障害のある方にも正確かつ十分な情報提供サービスがより速くできるよう、公共図書館と点字図書館という専門図書館との連携や相互協力を拡充させていくことが必要だとあらためて考えさせられました。

講演やその後の館内見学では、点字図書館の事業が多くのボランティアに支えられていることを実感しました。以前中央図書館に勤務していた時に、点訳や音訳のための下調べをされているボランティアの方々から來館や電話によるレファレンスをよくお受けしていたことを思い出しながら、点字図書の書架や録音図書の製作の様子などを興味深く見学させていただきました。

障害者サービスの向上を図るために、関係専門機関と公共図書館との連携が不可欠ではないかと感じた今回の研修でした。

二月十三日国立国会図書館関西館で行われた京都府図書館等連絡協議会の実務研修会（南部会場）に参加しました。

はじめに見る国会図書館関西館は広大な敷地にシンプルに建てられた近代的な建物で、その外観は印象的でした。入口から広いエントランスホールを進んで一階の研修室で関西



中部会場の模様

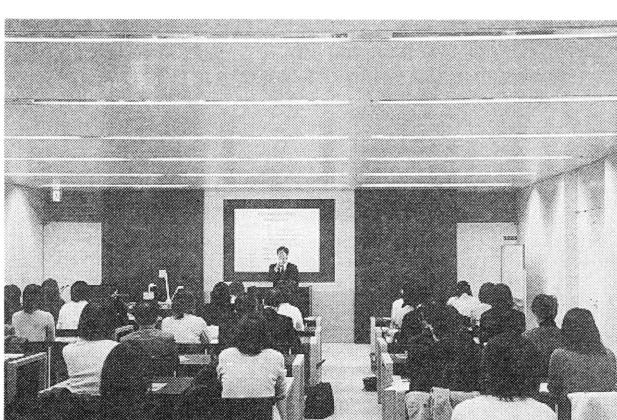
館の概要の説明とビデオの紹介があり、その後、館内の見学をさせていただきました。

建物は全体がガラス張りになつていて、そのガラスは細かい模様の施された二重構造で、日射量が六〇%になるように考えられているそうです。その日はお天気が良く館内には柔らかい光が射し込んでいました。

一階から地下一階の閲覧室に続く階段は、非常にゆるやかで、その絶妙な角度は、「これから本と出会う喜びをかみしめながらゆっくりと降りていっていただくためである。」

というような説明があり、なるほどと納得させられました。閲覧室には閲覧席が三五〇席あり、そのうち二五〇席には端末機が設置され、そこから資料の検索や請求ができ、請求した資料の到着については到着案内ディスプレイで知らせてもらえるのです。それは、たとえば、四階にあるカフェテラスで食事をしながらでもそこにあるディスプレイで知ることができます。

地下の書庫も素晴らしい、一方の長さが一二〇m程もあるという規模のもので、その書庫を出納のため動き回るのは大変な仕事であろうと感じました。



南部会場の模様

平成十五年度第三回理事会が、二月十八日・十九日の両日にわたり、それぞれ、峰山町中央公民館、岩瀧町立図書館において行われました。まず、冒頭の会長あいさつの中で、委員として出席している「京都府子ども読書活動推進会議」の模様が報告されました。同会議は、「京都府子どもの読書活動推進計画」策定のため、これまで計四回の会議がもたれ、昨年十二月十六日からは、中間案へのパブリック・コメントを募集しました。同計画は、この後、二月府議会への報告を経て、発表されます。

その会議の中で会長は、府立図書館に対し、市町村図書館等へのさらなる支援・連携、研修などのバックアップ、市町村への的確な助言・指導ができるよう、府立図書館職員自身の研修を要望し、また、府教育委員会に対しては、絵がみコンテスト以外のフォーラム等のイベントの開催、府教委自身のさらなる子ども読書活動へ取り組む姿勢の強化、一層の研修機会の充実等を訴えたことが伝えられました。

一方、今回の理事会では、四月一日の丹後六町の合併に伴う理事数について、また、専門委員会の委員について等も話し合われました。

## 平成15年度第3回理事会

京丹後市の加盟については、今後の合併の動きも視野に入れ、治体の消滅により、自然消滅（脱退）一 旧参加館は、合併に伴う母体自らの意向に沿う三 加盟館数は、合併等の状況を鑑み、新市の意向に沿う

という決定がなされました。

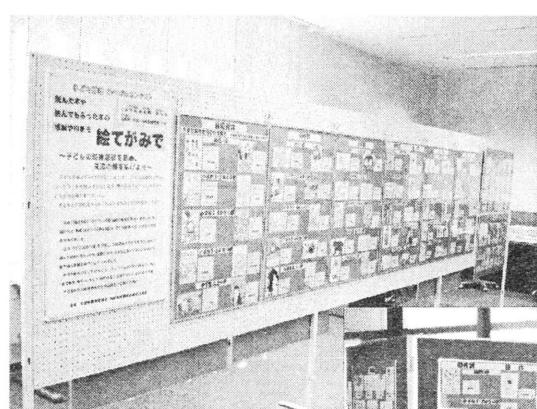
今回の場合は、旧あみの図書館と旧峰山町立図書館が、それぞれ対等の中央館となるため、二館の加盟が予定されています。（専門委員会委員についても、二館から選出されます）

また、会則第八条によると、京都府教育局の再編で理事数は二名の減となりますが、協議の結果、理事数を現状のままとするための会則の改正を、平成十六年度定期総会で提起することとなりました。

この他にも、報告事項として、平成十六年度子どもゆめ基金助成事業の申請、子ども読書絵てがみコンテスト、京都図書館大会、専門委員会の活動、K-Libnetについて等、また、協議事項として、平成十五年度のまとめ（会務報告・決算）や平成十六年度事業について（事業計画・予算）等について話し合われました。

また、交流協議の中では、祝日開館や市町村の「子ども読書活動推進計画」の策定などについても、活発に意見が出されました。

## 平成十五年度子ども読書絵てがみコンテスト



↑園部町の巡回展示

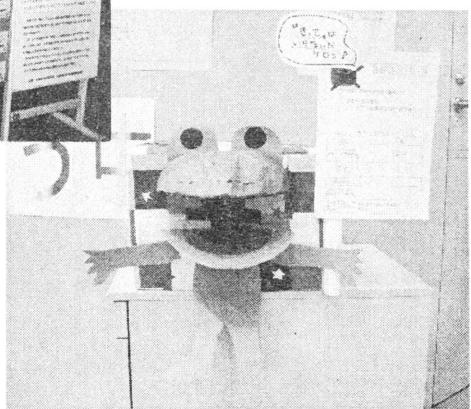
十五日の応募締切のあと、京都府立図書館において審査会が行われます。

コンテストは、三月二十四日現在の応募総数を大きく上回ることが予想されています。

本協議会が京都府教育委員会と共に開催している「平成十五年度子ども読書絵てがみコンテスト」ですが、三月十五日の最終締切を前にした三月一日現在の応募数が、すでに一〇〇〇件を越え、昨年の



←城陽市の巡回展示



↑日吉町の楽しい募集箱

そして、四月上旬には、入選者（及び学校等）への通知を行い、四月二十三日の「子ども読書の日」から五月七日まで、京都文化博物館にて一般展示を行います。

その後、前年度と同様に、市町村の図書館や読書施設を巡回展示する予定です。巡回希望については、四月に入つてから各施設に照会をかけますので、ご希望の図書館等は、ぜひ、ふるってお申し込みください。

# 本年度のK-Libnetの状況

## 京都府立図書館

平成十三年六月に稼動開始した京都府図書館総合目録ネットワーク（K-Libnet）ですが、もうしばらくで稼動四年目を迎えるとしています。これもひとえに、参加館の皆様のおかげです。ありがとうございます。

- 登録処理の際、各参加館の所蔵付替によるエラーへの対応
- K-Libnetサーバのディスク増設
- オンラインDBメンテナンスの不具合を修正
- 自動WANTEDの際、新規WANTEDの登録メッセージが参加館にいかない不具合の修正
- バーコード貸出了承の際、貸出帳票の印刷ボタンが出ない不具合の修正
- アクセス統計の不具合修正
- 中間一致検索の改善
- レスポンスピードの改善
- バーコード一括了承時のメモ有無表示不具合の修正
- TRC/UタイプMARC新分解型受入対応
- データベース内のデータ形の修正により、一部検索の不具合を修正
- 不安定なセッションへの対応
- 予約資料確保におけるバーコード対応
- 検索結果一覧画面及び書誌・所蔵画面における出版年表示の不具合修正
- 取消了承／取消不可回答時メッセージ修正
- 貸出可否照会先に21館以上指定時の不具合修正

移行していただいた館も大変多くあ

りました。今年度も野田川町中央公

民館図書室、宮津市立図書館、加悦

町中央公民館図書室、峰山町立図書

館、あみの図書館と、計五館がAタ

イプになつていただきました。（丹

波町中央公民館図書室は年度内Aタ

イブ参加予定）これにより、平成十

五年度末には、Aタイプ三十二館B

タイプ十六館と、現在では、Aタイ

プがBタイプのちょうど二倍になつ

ております。（稼動当初…Aタイプ八館、Bタイプ十館）

また、このように多くの館がAタ

イプ参加予定）これにより、平成十

五年度末には、Aタイプ三十二館B

タイプ十六館と、現在では、Aタイ

プがBタイプのちょうど二倍になつ

ております。（稼動当初…Aタイプ八館、Bタイプ十館）

また、このように多くの館がAタ

イプ参加予定）これにより、平成十

五年度末には、Aタイプ三十二館B

タイプ十六館と、現在では、Aタイ

プがBタイプのちょうど二倍になつ

ております。（稼動当初…Aタイプ八館、Bタイプ十館）

イブ参加館になつてくださったため、データ総数も、ついに、三五〇万件（所蔵単位）を上回りました。これは、稼動当初のほぼ三倍の数値です。

（稼動当初…約一一七万件）

一方、平成十七年度に予定されて

いる府立図書館のシステム更新に伴

い、K-Libnetにも、できる限り修正や機能向上を加えていきました

いと考えております。

K-Libnetは、利用者と参

加館の皆様のものです。今後も会議

やアンケート等でお聴きしますが、

使い勝手や機能について、こうした

方がいいのではないか、もっとこう

して欲しい等のご意見やご要望等が

ございましたら、ぜひ、府立図書館

企画調整係までお知らせください。

●児童・青少年部門研究集会  
期日…十一月二十五日（木）～二十六日（金）

開催地…福井県福井市

テーマ…「一人一人の子どもに読書のよろこびを」

●総合・経営部門

期日…平成十七年一月二十七日（木）～二十八日（金）

開催地…鹿児島県鹿児島市

●児童・青少年部門研究集会  
期日…十一月二十五日（木）～二十六日（金）

開催地…福井県福井市

テーマ…「一人一人の子どもに読書のよろこびを」

●総合・経営部門

期日…平成十七年一月二十七日（木）～二十八日（金）

開催地…神戸市

テーマ…「瀬戸内の風にのせて、未来へ発信」情報の泉・図書館を考える」

●児童・青少年部門研究集会  
期日…十一月二十五日（木）～二十六日（金）

開催地…大阪市

テーマ…「図書館サービスの未来を語ろう！チャレンジ！」できることがらはじめてみよう！」

●サービス部門研究集会  
期日…十月七日（木）～八日（金）

開催地…岩手県盛岡市

テーマ…「図書館サービスの未来を語ろう！チャレンジ！」できることがらはじめてみよう！」

●第十三回京都図書館大会  
期日…十月七日（木）～八日（金）

開催地…大阪市

また、京団連協として、北部で

「子どもゆめ基金」事業、南・中部

で実務研修会を行う他に、京都府立

図書館主催の地区別研修も予定され

ています。

**専 門 委 員 会 ＝ ユ ー ス**

四十六名)

◎ 相互協力委員会

前号でお伝えした「拡大相互協力委員会」が、十二月四日（木）、府立図書館において開催されました。（出席者十七名）

主な議題としては、まず、府立図書館から、現在の K—Lib net の書誌同定についてと、帳票に関する説明がありました。

その後、平成六年度から刊行が止まっている『京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録』の再発行について委員の意見を聞き、K—Li b n e t を利用した場合の問題点等について話し合われました。

さらに、平成十七年度の府立図書館のシステム更新に向けて、実際の画面を見ながら、参加館の皆様に K—Lib net へのご意見やご要望をいただきました。これについては、今回の拡大相互協力委員会だけでなく、来年度以降の相互協力委員会やアンケート等を通じて、広く参加館の意向を集約していく予定です。また、二月二十七日（金）には、同じく府立図書館において、実務担当者会議が開かれました。（出席者

冒頭に府立図書館から、K—Li b n e t の注意事項と現在の参加状況等の説明、相互貸借の確認事項があり、その後、京都市から相互貸借の当面の取扱いについての説明がありました。

後半は、事例報告として、あみの図書館の松岡さんから「丹後六町の合併と図書館」、園部町立園部中央図書館の大西さんから「本のちょきん通帳の取組について」、また、向日市立図書館の芦田さんは「図書館おたすけ隊 サガスンジャー しらべる！」の巻について」があり、どの報告も楽しく、非常に有意義なものでした。

内 容 も、北 部 会 場 で は 科 学 お も ち や 作 り と 講 義 、 中 部 会 場 で は 障 害 者 サ ー ビ ス を テ ー マ と し た 講 演 と 京 都 ラ イ ト ハ ウ ス の 見 学 、 南 部 会 場 で は 国 立 国 会 図 書 館 関 西 館 の 見 学 と バ ラ エ テ ィ ー に 富 ん だ 内 容 で 実 施 で き た の で は な い か と 思 つ て い ます。

ま た 、 講 師 の 方 や 、 会 場 を お 借 り し た 館 の み な さ ま に は 大 变 お 世 話 に な り 、 この 場 を お 借 り し て お 礼 を 申 し 上 げ ま す。

や つ と 終 わ っ た と い う 安 堵 感 や 、 大 变 で は あ つ た が 二 年 間 が 過 去 て し ま え ば 貴 重 な 体 験 を さ せ て い た だ い た と い う 感 謝 の 思 い な ど が 交 错 し 、 複 雜 な 気 持 ち で す。

二 年 間 、 と も に 奮 戰 し て い た だ い た 広 報 委 員 の メ ン バ ー や 、 お 忙 し い 中 、 無 理 を 言 つ て 原 稿 を お 世 話 に な つ た 方 な ど 、 紙 面 づ く り に ご 協 力 い た だ い た 皆 様 に 、 厚 く お 礼 申 し 上 げ ま す。

◎ 広報委員会

平成十五年度第三回広報委員会を

一月三十日（金）に府立図書館で開催し、会報第六十三号の編集について協議を行いました。

今年度も八月・十一月・三月と会報を三回発行することができました。次号からは新しい広報委員にバトンタッチします。

● ● 編 集 子 ● ●

二年前、みんな初めてで、何もわからないままでスタートした広報委員会でしたが、なんとか予定どおり合計六回の会報を、無事、発行することができます。